

りんどうの栽培による産地づくりへの貢献 (有限会社 駒ヶ谷建設)

<法人の概要>

所在地：岩手県二戸郡一戸町

設 立：昭和51年5月

資本金：1,000万円

売上高：26,000万円（平成25年）

（うち農業：400万円）

役 員：4名（うち農作業従事2名）

従業員数： 13名、うち農業従事者 4名

経営面積： 0.33ha 営農作物：りんどう

農業開始時期： 平成22年4月



りんどう苗植え作業



りんどう圃場

<農業参入に至った経緯・動機>

建設工事の受注量が減少する中で、工事施工の端境期における従業員の雇用維持を進めるため、新分野への進出を検討していた時、JA等の他分野から農業への進出についての研修会等へ参加し、農業分野に進出することを決めた。

<農業参入することを決めてから営農開始まで>

栽培品目を町の特産花きとして奨励している「りんどう」に決め、町のりんどう産地形成に貢献していくことを経営目標とした。

遊休農地をりんどう栽培できるよう農地整備や土壌改良を実施し、営農準備を実施した。

＜営農開始から現在まで＞

当初、営農面積0.03haから開始し、3年間で農地整備を行いながら現在の経営面積まで栽培地の拡大を行った。

町やJAの指導や協力を受けながら、栽培技術の高度化を進めながら、日々の手入れや出荷繁忙期の剪定、箱詰めなど従業員の効率的な活用を模索しながら経営を行ってきた。

他の生産者との差別化を目指し、地域で栽培していない新たな品種の栽培や「早生」、「極早生」の品種を組み合わせることで作業の効率化を図りながら、収益性の向上と販売拡大を目指してきた。

＜今後の農業経営の展開方向＞

- ・更なる栽培品種の多様化を図り、経営の安定を目指す。
- ・従業員の教育訓練を実施しながら高品質なりんどう栽培や販売を行う。
- ・直接販売の拡大を進めるための販路の開拓を行っていく。

＜今後農業に参入しようとしている法人へのアドバイス＞

農業へ参入する際は、初期投資を抑え、従業員ばかりに任せっきりにせず、役員自ら作業するようであれば継続的な営農は難しいと思う。



苗植え準備



出荷前選別作業